

# 第1回 松ヶ岡プロジェクト推進委員会（議事録）

日時：平成27年2月14日

13:30～15:30

会場：松ヶ岡（旧山崎家住宅）

## 1 開 会

## 2 挨拶

教育長

委員長

- ・掛川市の有力な人たちにも参加してほしいと考え、新戦力を補強して、プロジェクトの実現を期していくことになった。疑問に思うことがあれば、問題提起をしてほしい。検討委員会では、識者から講話を聴き、多くの勉強をした。松ヶ岡は建物という物的な価値と物語が力強く光を放っていると認識している。したがって、この両面が大事にされ、市民あるいは市の大きな財産として力を発揮していくことが期待されている。松ヶ岡は文化財であり、ソフト面ではたくさんの物語を持った施設であることを念頭に、プロジェクトを進めていく。いろいろとお知恵を出していただくようお願いする。

## 3 自己紹介 名簿順に自己紹介

大井川疎水計画図（測量）の絵図を披露

## 4 経過報告 ・資料「松ヶ岡保存活用検討委員会の報告書について」を説明…事務局

## 5 議事・・・進行 委員長

松ヶ岡プロジェクトについて基本的な考え方を共有するため委員長が説明。

### (1) 今後の活用について

資料「『松ヶ岡プロジェクト』の今後の事業について」

「ふるさと納税（ふるさと寄附金）について」を説明・・・事務局

資料「松ヶ岡活用案」についてを説明・・・参与

- ・松ヶ岡PR月間、強化ウィークと期間を定めれば、市民の目に止まるし、プレスにも取り上げられる。プロジェクト推進委員会による企画で記者クラブと意見交換や、委員の内部会議や研修会としての利用や子供や若いお母さんを集めたイベントなどを提案。
- ・講話・講演等で、掛川銀行について分かりやすく、金融を含めて専門家にお話ししてもらうことが、掛川銀行を復元する起爆剤になる、市民向けの金融ゼミのようなものを企画して、講師が元金融大臣ならみんな来る など意見が出て、素案を作り、次回に発表することとなった。

### (2) チーム構成について

資料「松ヶ岡保存活用検討委員会の報告書について」を説明…事務局

- ・検討委員会では部会で分けたが、それがよかったのか疑問。委員を割り振るのではなく、やりたい人が自発的にチームに参加。各チームで事業を企画して、推進委員会で決定したらどうか。あらかじめ委員を分けると形式的になって動きづらくなる。
- ・今後、プロジェクトを進めるために重要なテーマが出てくる。自分の得意分野、興味のある分野に積極的に参加してもらってチームを構成していく方がやりやすい。どのプロジェクトにも参加することができる形で進めることとなった。

## 6 閉会（15：40）